

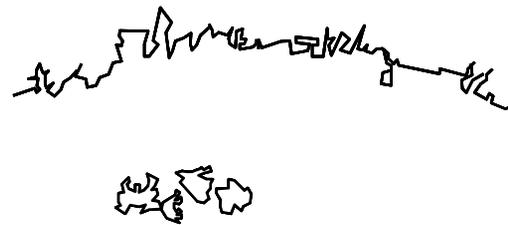
兵庫県のみ漁場環境情報 (西播海域 8 号)

平成29年12月27日発行
 兵庫のみ研究所

前回 (12/18) 調査同様に、地先漁場の一部海域において多種多様な珪藻が多く発生しており、栄養塩の低い状況となっています。一方、沖合漁場ではこれら珪藻は散見される程度であり、窒素は概ね6~7 μg at / L台と平年より高い値で推移しています。

(**栄養塩、珪藻**) 地先漁場では、赤穂海域を中心に群体を形成して肉眼視 (淡黄色の綿埃状) されるキートセロスの一種やリゾソレニア、ユーカンピアなど比較的大型の珪藻が多く確認されるが、東に進むに従ってこれら珪藻の発生量は少なく、網干漁場では散見される程度であった。沖合の院下漁場において、地先と同様の珪藻がやや目立つ程度に確認されたが、それ以外の沖合漁場では珪藻の発生量に大きな増減はなく、窒素も概ね前回調査並の値で推移している。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	4.0	3.0	3.2	4.6
	リン	0.47	0.43	0.44	0.49
家島・坊勢	窒素	6.0	6.2	5.2	5.9
	リン	0.65	0.69	0.65	0.69

(12/18) (12/22)

栄養塩 (窒素) 図

平成29年12月27日調査

